

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300262
事業所名	グループホームはなえくぼ扶桑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームの経過年数とともに、地域での認知度も高まり、散歩時の挨拶やホーム行事への参加のお誘い等で、日常的に交流がある。今年度も、ホームのリクレーションのミニ花つくりにご近所の方の参加があったり、相撲部屋のお相撲さんの来訪があった時には一緒に参加してくれたりとお付き合いが継続している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 概ね2ヶ月に1度、年6回の会議開催がある。馴染みのメンバーが集まり、ホームの運営報告を基に意見交換を行っている。多数の意見や提案が集まり、ホーム運営に反映できる事項も数多い。会議後の茶話会では、さらに話が進み、和やかな雰囲気の中、ホーム理解が進んでいる。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営に関する相談や報告を通じ、適切に指導や助言を仰いでいる。行政主催の、ケアマネ連絡会やグループホーム連絡会にも参加し、積極的に協働している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会では、家族と真摯に向き合い、意見や提案を聞く機会を設けている。日ごろから家族と近い関係性に努め、相互に相談しあえる関係構築がある。聴き取った内容は、職員周知で検討し、運営や支援に反映させている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	